

(令和6) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市一橋) ・学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	<p>安全・衛生の確保</p> <p>健康の管理・情緒の安定</p> <p>基本的生活習慣の確立</p> <p>社会生活技術の獲得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・机・おもちゃ・遊び道具の整理・消毒 ・来所時の手洗い・うがいの徹底・児童の体調管理 ・ICT（さくらdays）の活用 ・荷物の整理・片付け ・帰所時（集団帰り）の安全指導 ・一日のスケジュールの明確化 ・宿題・学習時間の設定 ・おやつ提供。（アレルギー児童の対応） 	<ul style="list-style-type: none"> ・育成室や職員室・トイレなどを消毒を行うことにより、感染症の感染防止に努めた。 ・児童の来所時に手洗いの徹底。児童の体調の様子を観察を行うことにより、利用者の安全・感染症の感染防止策が保護者の理解を得られたように思われる。 ・ICT（さくらdays）を活用することで、保護者と児童の出欠確認や連絡事項等を行い児童の安全確保や情報共有が図れた。 ・児童に整理・整頓の声掛けを行うことで、基本的な生活習慣が身につくように努めた。 ・帰りの会などで、1日を振り返りと帰所時の安全指導を行うことができた。 ・一日のスケジュールを表示することにより、児童自ら考え行動を起こすことができた。 ・学習時間を設けることにより、学習ができる環境づくりができた。 ・事前に保護者に児童のアレルギーに対する情報を得て情報共有を図り、児童の食の安全に努めることができた。
子ども育成機能	<p>生活体験の拡大</p> <p>社会性の養成</p> <p>自立の促進と自主性の尊重</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの援助 ・班活動 ・壁面制作 ・プラバン工作 ・水遊び ・スライム作り ・学童夏まつり ・ハロウィン行事 ・クリスマス会 ・チューリップ球根植え ・かるた作り・かるた取り ・正月遊び ・修了記念作品作り ・ブロックドッジボール大会 ・お別れ遠足 ・入所式・修了式 ・防災避難訓練（火災・地震） ・交通安全教室 ・防犯安全教室 ・Les' piay' esports ・東山区民ふれあい広場 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との遊びのきっかけ作りが苦手な子に職員が中に入り、友達づくりのパイプ役を行うことにより、児童同士の交流が図れ、友達の輪が広がった。学童を利用して楽しいと感じられるようになったかと思われる。 ・班活動を行うことにより、仲間意識や協力し合うことで、思いやりが育ったように思われる。また、3年生以上については、リーダーの意識が芽生え高められた。 ・壁面制作に児童が関わることにより、創作意欲が高まった。 ・自分だけのオリジナル作品を作ることにより、創作意欲が高まった。 ・イベントを行うことにより、普段感じられない喜びや楽しさを味わえた様に思う。またコーナを受け持った児童については、コーナーを企画・運営するうえで仲間と協力し合うことにより仲間意識、責任感や所属感を育むことができた。 ・季節に応じた行事を行うことにより、季節感を感じることができたかと思う。行事を子どもたちが立案し行うことにより、子どもたち同士の絆が深まった。 ・ドッジボール大会に低学年チーム、高学年チームで参加し、仲間意識や連帯感が生まれた。 ・お別れ遠足では、公共交通機関を利用することで、子どもたちの公共マナーの意識が高まった。また仲間という喜びを得られたように思われる。 ・学童クラブに入所する子どもたちを迎えたり、修了するお友だちを送ることができ、子どもたちの成長の区切りとなる機会に、仲間と共に祝うことができ、仲間意識が高められた。 ・防災避難訓練（火災・地震）を行うことにより、子どもたちの防災意識の向上に繋がった。 ・交通ルールや不審者に遭った時の対処法など、また遭わないようにどうすればよいかの警察の方から教わることにより、子どもたちの交通ルールの意識が高まった。 ・スマホの使用時の注意点、SNSの危険性を警察の方から教わることにより、情報ツールの危険性を知り、防犯意識が高まった。 ・地域活動のイベントに参加することにより、地域の方々との交流が図れた。また地域の方々に学童のことを知ってもらう機会になった。
子ども支援機能	<p>子育てに必要な情報の提供と交換</p> <p>子育ての仲間づくり</p> <p>子育てを支えるネットワーク形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おたより発行 ・家庭との連携（個別相談活動） ・保護者懇談会 ・入所説明会 ・新入生面談 ・お弁当DAY ・フードドライブ 	<ul style="list-style-type: none"> ・おたよりを発行することにより、学童の様子を保護者に伝えることができた。 ・懇談会や保護者と個別面談することにより、保護者の悩みや相談事を聞くことができ、保護者との信頼関係が築けた。 ・学校や関係機関との連携を図ることにより、配慮を要する児童の情報共有でき、児童に関わる機関全体で支えることができたように思われる。 ・入所前に面談を設けることで、児童の情報が保護者と共有することができ、きめ細やかな児童の対応の準備ができた。 ・お弁当を学童で用意する日を設定することにより、保護者負担の軽減になったかと思われる。保護者のニーズも高い。